

電力の切り替えで再生可能エネルギーを普及しよう！（大阪府吹田市）

取組概要

本市では、再エネの導入拡大の創出を目的とした「吹田市電力の調達に係る環境配慮方針」を策定し、公共施設において電力を調達する場合に、再エネ比率の高い電気を供給することを主な入札参加条件とした、環境配慮型の電力調達を行っています。

平成29年10月から特別高圧又は高圧で受電している79の公共施設を対象に電力の切り替えを行い、平成30年10月からは対象施設を大幅に増やす計画です。

本市が率先して環境に配慮した小売電気事業者から電力調達を行うことで、小売電気事業者が再エネ比率の高い電気を供給を促進することで、再生可能エネルギーの導入拡大を創出することを目的としています。

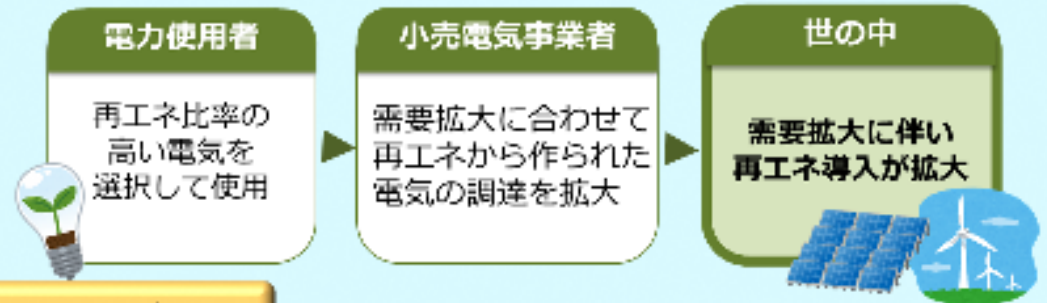
人口370,457人（H30.1.1現在）

担当 環境部 環境政策室

取組の効果

- 平成29年度に実施した取組により、
- ・再エネ比率が従来の関西電力の約4.4倍に！
（HP掲載情報との比較）
- ・電気料金を、約1億8千万円削減！
（予定価格との比較）

再生可能エネルギー導入拡大のイメージ



創意・工夫した点

国や他自治体の電力調達では、二酸化炭素をどれだけ排出しているかということをもっと重視していますが、本市では、「再エネ比率」を最も重視しました。
（実質的に再エネに特化）

他団体へのアドバイス

電力調達は、コスト削減だけを考慮すれば、条件を設けずに入札を行う方が有利ですが、環境配慮という付加価値を付けた電力調達を率先実行することが、地方公共団体が担う役割ではないかと感じています。本市の電力調達に興味を持たれたご担当者様がいらっしゃれば、ご一報ください。本市のノウハウをご提供させていただきます。一緒に持続可能な社会の実現に向けた取組を進めましょう。